

消費者庁管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	死亡	重傷	軽傷	CO中毒	火災	事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
A202100805	2022/01/04	2023/10/31	油だき温水ボイラ	MBX-4500	(株)ノーリツ	北海道					○	畜舎で当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品は、電気配線が短絡等したことによる出火、電磁ポンプ周辺から漏れ出た灯油が燃焼室内からの熱によって引火したことによる出火の可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	製造から25年以上経過した製品
A202100854	2022/01/18	2023/10/31	石油給湯機付ふろがま	UKB-3300TXA(MS)	(株)コロナ	長崎県					○	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品は、灯油に混じった汚れがノズル内側に付着するなど噴霧不良を引き起こし、着火不良となって器具内に燃え残った灯油が再点火の際に着火し炎が大きくなり排気口から炎が出たものと推定されるが、パッキンの焼損が著しく、明確な燃焼異常の痕跡及び着火不良を示すエラー表示も出ていなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	製造から20年以上経過した製品
A202100842	2022/01/19	2023/10/31	石油ストーブ(開放式)	SX-D27WY	(株)コロナ	千葉県	1				○	建物2棟を全焼、1棟を部分焼する火災が発生し、1名が死亡した。	当該製品に異常燃焼及び油漏れの痕跡は認められなかったが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	製造から20年以上経過した製品。平成20年9月17日からリコールを実施
A202100955	2022/02/01	2023/10/31	石油ファンヒーター(開放式)	FW-4616L	ダイニチ工業(株)	兵庫県	1				○	建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。	当該製品は、本体に出火の痕跡は認められず、電源コードのプラグと本体間の断線部が溶解痕が認められたが、一次痕か二次痕かは不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	
A202100912	2022/02/03	2023/10/31	石油給湯機	IBF-4765DSN	(株)長府製作所	宮城県					○	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を熔融する火災が発生した。	事故原因当該製品は、何らかの原因で排気室に灯油がたまり、酸化した未燃灯油にバーナーの火が引火して火力が大きくなり、排気口から炎が出て出火したものと推定されるが、未燃灯油が生じた原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	
A202100874	2022/02/04	2022/02/28	石油ストーブ(開放式)	不明	(株)トヨミ	島根県		1			○	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が重傷を負った。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。			
A202200072	2022/02/23	2023/10/31	石油給湯機	IB-4701DKF	(株)長府製作所	北海道					○	当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品は、長期使用(約14年)により、制御基板又は電源配線でトラッキング現象、短絡等が生じて出火した可能性、あるいは給排気筒が雪で埋まりショートサイクルが形成されたことで給気パイプを焼損させた可能性が考えられるが、制御基板周囲の焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	製造から15年以上経過した製品
A202200274	2022/02/26		石油ファンヒーター(開放式)	FW-324S	ダイニチ工業(株)	岡山県					○	当該製品を使用中、建物3棟を全焼し、2棟を類焼する火災が発生した。	当該製品の燃焼部に異常燃焼の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があり、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	
A202200384	2022/03/04		石油ストーブ(開放式)	GKP-S241N	(株)千石((株)グリーンウッドブランド(輸入事業者))	広島県	1				○	当該製品及び建物1棟を全焼する火災が発生し、1名が死亡、1名が軽傷を負った。	当該製品は、カートリッジタンクを操作した際に口金を外れて灯油が漏れたため、漏れた灯油に引火したものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	平成22年9月1日からリコールを実施
A202200100	2022/04/02	2023/10/31	石油ファンヒーター(開放式)	FW-5714LE	ダイニチ工業(株)	東京都					○	当該製品を点火したところ、建物1棟を全焼、2棟を類焼する火災が発生した。	当該製品に異常燃焼の痕跡及び確認できた部品に異常は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	
A202200108	2022/04/05	2023/10/31	石油ストーブ(開放式)	RX-2213Y	(株)コロナ	群馬県					○	当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生した。	調査の結果、○外観は、全体が著しく焼損し、しん調節つまみや取っ手等の樹脂部品は焼失、天板がへこみ、前面ガードはなかった。○しん上下機構スピンドルの角度からしんは最大火力位置にあり、燃焼筒にすすの付着等、異常燃焼の痕跡は認められなかった。○しん案内パイプ底部に本体前面下部の隙間から吸い込まれた繊維様の焼残物が固着し、パイプ内部にすすの付着が認められ、パイプ直下に位置する置台表面に著しい焼損痕が認められた。○カートリッジタンクはタンクケース内にあり、蓋開閉スプリングの状態から、蓋は閉まった状態だった。		
A202200047	2022/04/11	2023/10/31	石油給湯機付ふろがま	UKB-320TX(A)	(株)コロナ	兵庫県					○	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、長期使用(30年以上)により、サイレンサー内部に溜まった灯油が赤熱したすすの落下等で着火し、排気口から出た炎によって当該製品及び周辺が焼損したと考えられ、経年劣化による事故と推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	製造から30年以上経過した製品
A202200102	2022/04/12	2023/10/31	石油ふろがま	JPK-N3	(株)長府製作所	茨城県					○	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品は、制御基板上に付着した物質の腐食等の作用により銅箔パターンが断線したために、空だき防止装置が作動せず、空だき状態になったものと考えられるが、制御基板上に付着していた物質及び付着した経緯が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	製造から25年以上経過した製品
A202200067	2022/04/18	2023/10/31	石油ファンヒーター(開放式)	KDF-25SC	ダイニチ工業(株)	茨城県					○	当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生した。	当該製品は、ガソリンの誤給油により出火に至った可能性が考えられるが、焼損が著しく、当該製品からガソリンの成分が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	
A202200123	2022/05/14	2023/10/31	油だき温水ボイラ	CUG-376URF-1	サンボット(株)(現(株)長府製作所)	北海道					○	病院で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、修理業者が熱交換器等に堆積したすすを取り除かないまま、適切な修理を行わずに運転を開始したため、不完全燃焼が継続し、排気経路が閉塞状態となったことで、燃焼室にたまった未燃灯油が異常燃焼した際に、給気経路へ炎が逆流し、燃焼用送風機の給気口から炎があられ、樹脂製の給気管に着火、周辺を焼損したものと推定される。	製造事業者である株式会社長府製作所は、今回の修理店への指導の実施及び、関係する営業関係者への社内教育を実施した。	

1.このデータは暫定データのものも含まれているため、後日変更・削除される場合もあります。
 2.事故発生日欄に「知」の付いている日付は事故の発生を知った日を表します。
 3.人的被害概要(重症病):治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病又は後遺障害
 4.人的被害概要(軽傷病):治療に要する期間が30日未満を負傷・疾病

消費者庁管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業者名	事故発生場所	死亡	重傷	軽傷	CO中毒	火災	事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
A202200195	2022/06/06		石油ふろがま	CK-11S	(株)長府製作所	大分県					○	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は機器の修理、点検及び空だき防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクタ(空だき防止装置を働かせないようにするもの)が差し込まれたままの状態であり、使用者が入浴後にスイッチを切り忘れて空だきとなった際に空だき防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	株式会社長府製作所は、当該製品を含む対象機種について、修理・点検時の点検用コネクタの戻し忘れによる空だき事故が発生したことから、事故再発防止のため、平成19年7月27日にプレスリリース及びHPに情報掲載し、点検用コネクタが付属する全ての機種について、無償点検により点検用コネクタの回収を実施。他の対象機種と一部構造等が異なる2機種(CK-11及びCK-11S)は、空だき防止装置の作動頻度が多くなり修理等の依頼が増え、点検用コネクタの戻し忘れの可能性が高くなるため、安定的な作動確保のため基板交換も実施。周知のため平成19年7月28日に新聞社告、平成21年10月～平成22年3月までTVCM放映、継続的に販売・サービス店による修理・点検時に対象機種がある場合、確認と回収等の徹底、ポスター掲示、店頭チラシ配布、新聞折込みチラシ等による呼び掛けを行っている。	製造から25年以上経過した製品。平成19年7月27日からリコールを実施
A202200546	2022/10/05	2022/10/25	石油ストーブ(開放式)	KCP-E2415Y	(株)コロナ	秋田県					○	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。			
A202200613	2022/10/30		石油給湯機	UIB-310TX3(F)	(株)コロナ	新潟県					○	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、長期使用(30年以上)による点火棒の消耗、バーナーノズルの異物付着により、点火不良及び燃焼不良が生じて、すす及び未燃灯油が生成され、溜まった未燃灯油が、劣化した缶体接合部の隙間から排気熱と共に漏れ出し、配線類が焼損し、火災に至ったものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	製造から25年以上経過した製品
A202200630	2022/10/31		石油給湯機付ふろがま	UKB-3300TXA(MS)	(株)コロナ	新潟県					○	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、長期使用(20年以上)により、点火棒の消耗、バーナーノズルの汚れにより、点火不良及び燃焼不良が生じて、すす及び未燃灯油が生成され、溜まった未燃灯油に着火したものと考えられ、経年劣化による事故と推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	製造から20年以上経過した製品
A202200684	2022/11/28	2022/12/26	石油ストーブ(開放式)	RL-25F	(株)トヨトミ	千葉県	1		2		○	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が死亡、2名が軽傷を負った。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。			
A202200714	2022/11/29	2022/12/26	石油ストーブ(開放式)	RCA-91	(株)トヨトミ	山口県					○	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。			
A202200757	2022/11/30	2023/01/25	石油給湯機	OQB-407F	(株)ノーリツ	秋田県					○	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。			
A202200746	2022/12/03	2023/01/25	石油ふろがま	JPK-N5	(株)長府製作所	岩手県					○	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。			製造から10年以上経過した製品
A202200779	2022/12/05	2023/01/25	石油ストーブ(密閉式)	FF-VT42P	(株)コロナ	青森県					○	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。			製造から20年以上経過した製品
A202200793	2022/12/20	2023/01/25	石油ストーブ(開放式)	RCA-260	(株)トヨトミ	岡山県			2		○	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が死亡した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。			製造から35年以上経過した製品
A202200792	2022/12/21	2023/01/25	石油ストーブ(密閉式)	FF-35A	(株)トヨトミ	北海道					○	当該製品を焼損する火災が発生し、2名が軽傷を負った。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。			

1.このデータは暫定データのものも含まれているため、後日変更・削除される場合もあります。
 2.事故発生日欄に「知」の付いている日付は事故の発生を知った日を表します。
 3.人的被害概要(重症病):治療に要する期間が30日以上上の負傷・疾病又は後遺障害
 4.人的被害概要(軽傷病):治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病